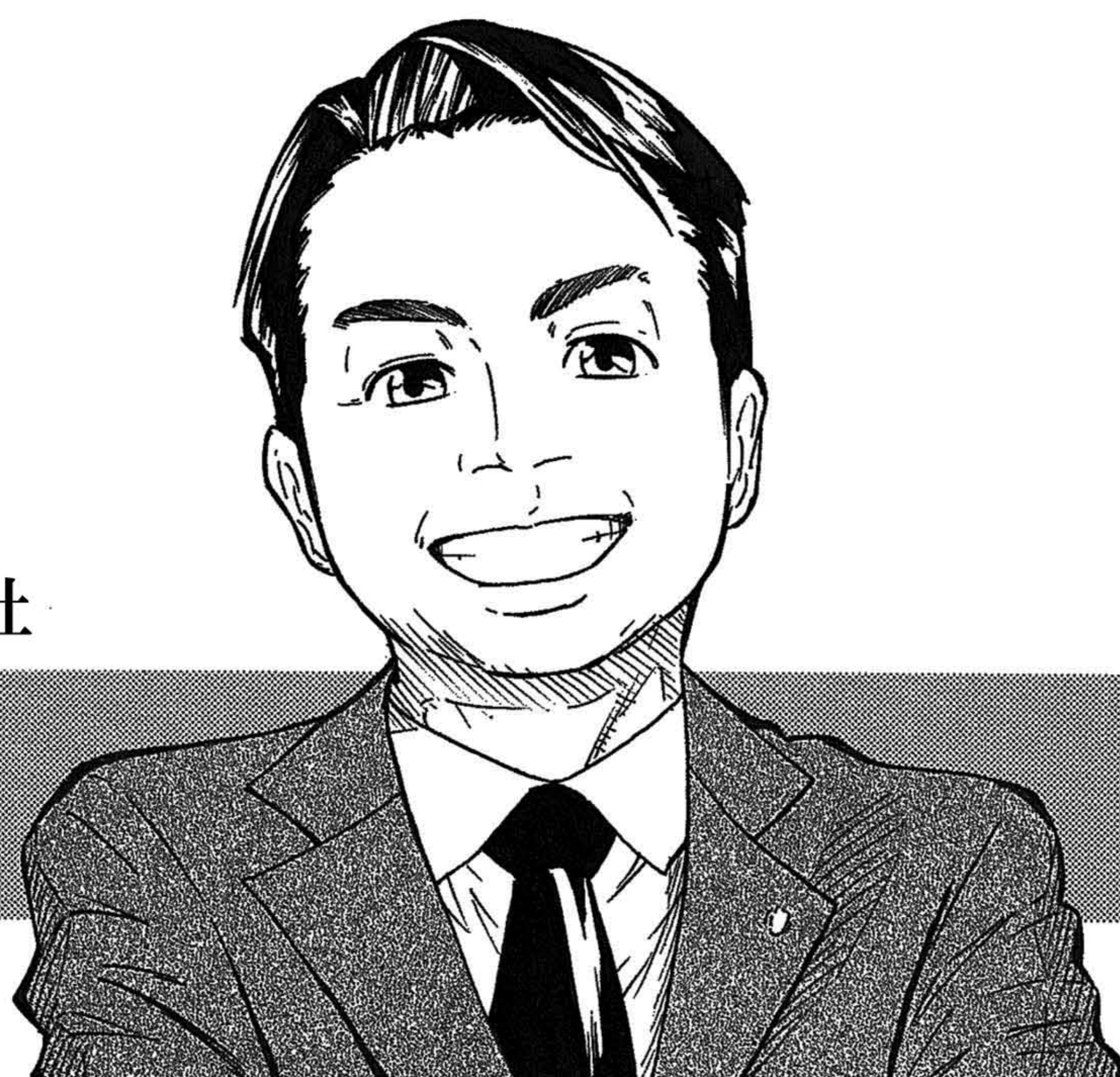


己斐製氷 株式会社

代表取締役

兼品 雅彦



社員は、
共に学び、共に育ち、
成長し合えるパートナー！

明治後期に
創業され、

親子三代に渡り
事業を進めてきた

己斐製氷株式会社

現社長、兼品雅彦
それは当時、
いち社員にすぎない
31歳の時であった――

社長、話って
何ですか？

ああ。
……来月から
社長の座を
お前に譲ることに
した。

はっ!?

ちよつと……
突然何を!?

この会社、
今の3倍は
大きくしろよ
ハッハッハ

……!!

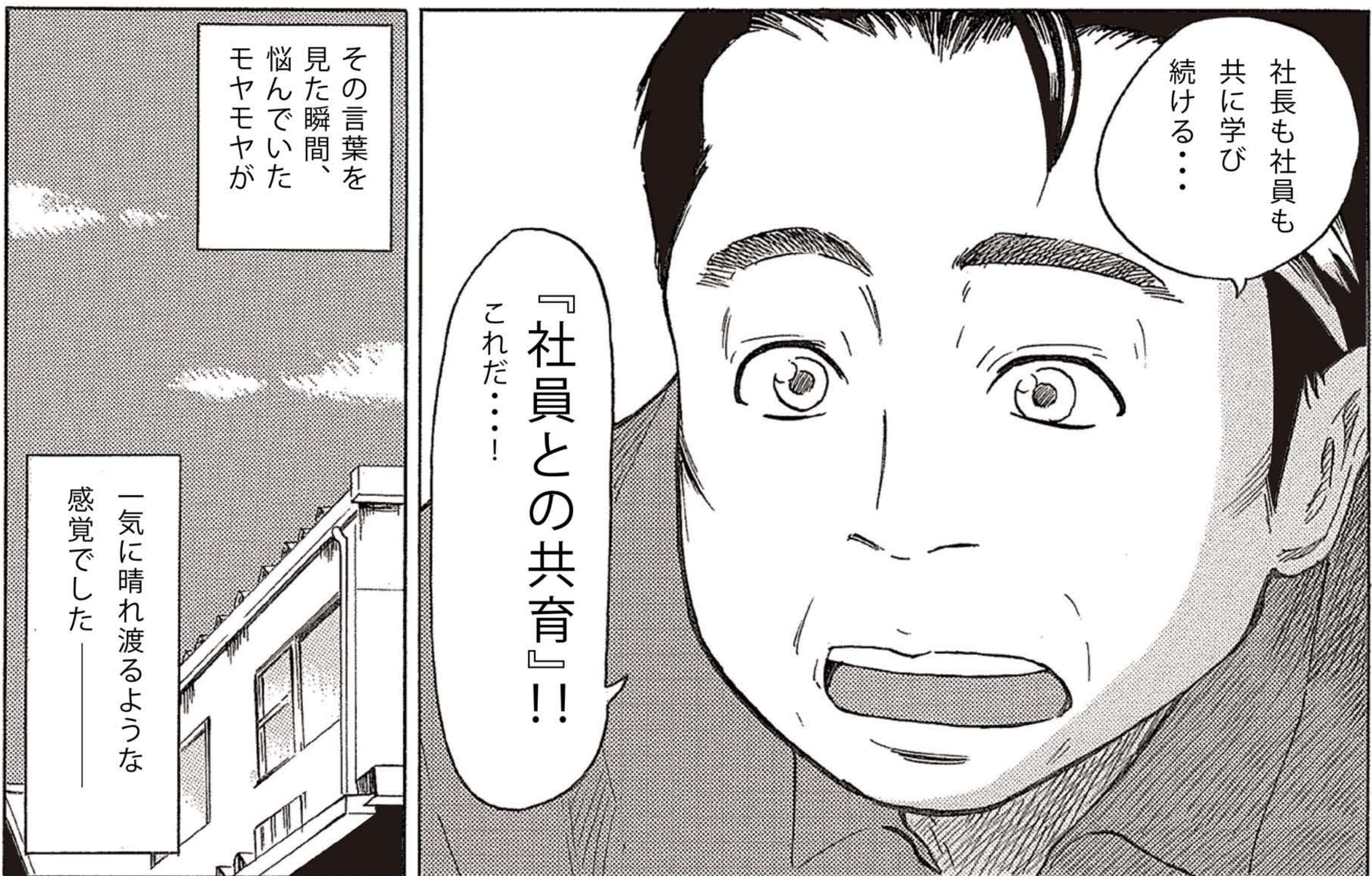
その日から
私は眠れない
日々が続いた……

社員と、その社員家族の
未来が自分の肩に
かかっているからだ……

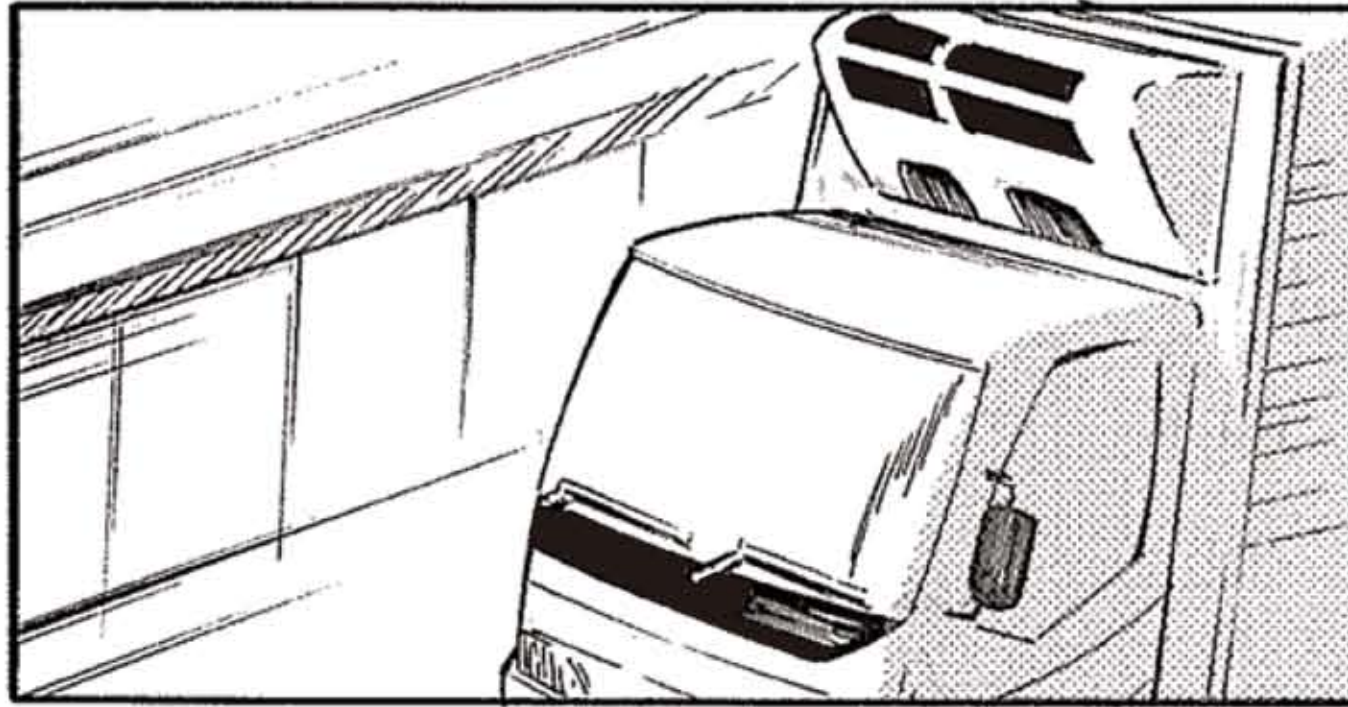
それ以来、
経営に関する
セミナーに出席

経営に関する
本を片っ端から
読みあさった。

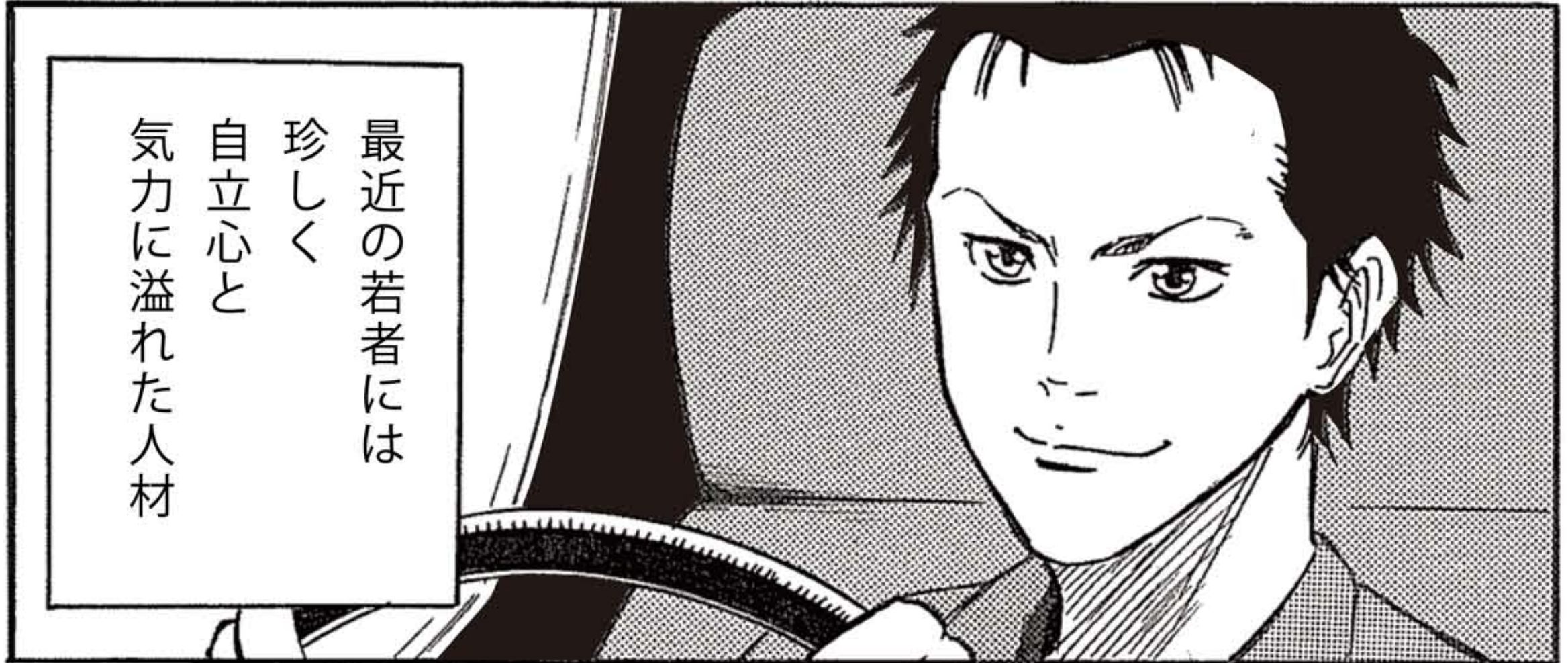
そんな
ある日の
事だった。



彼は
生活費と
高校の学費を
自らアルバイト
をして稼ぎ、
卒業をする
ような

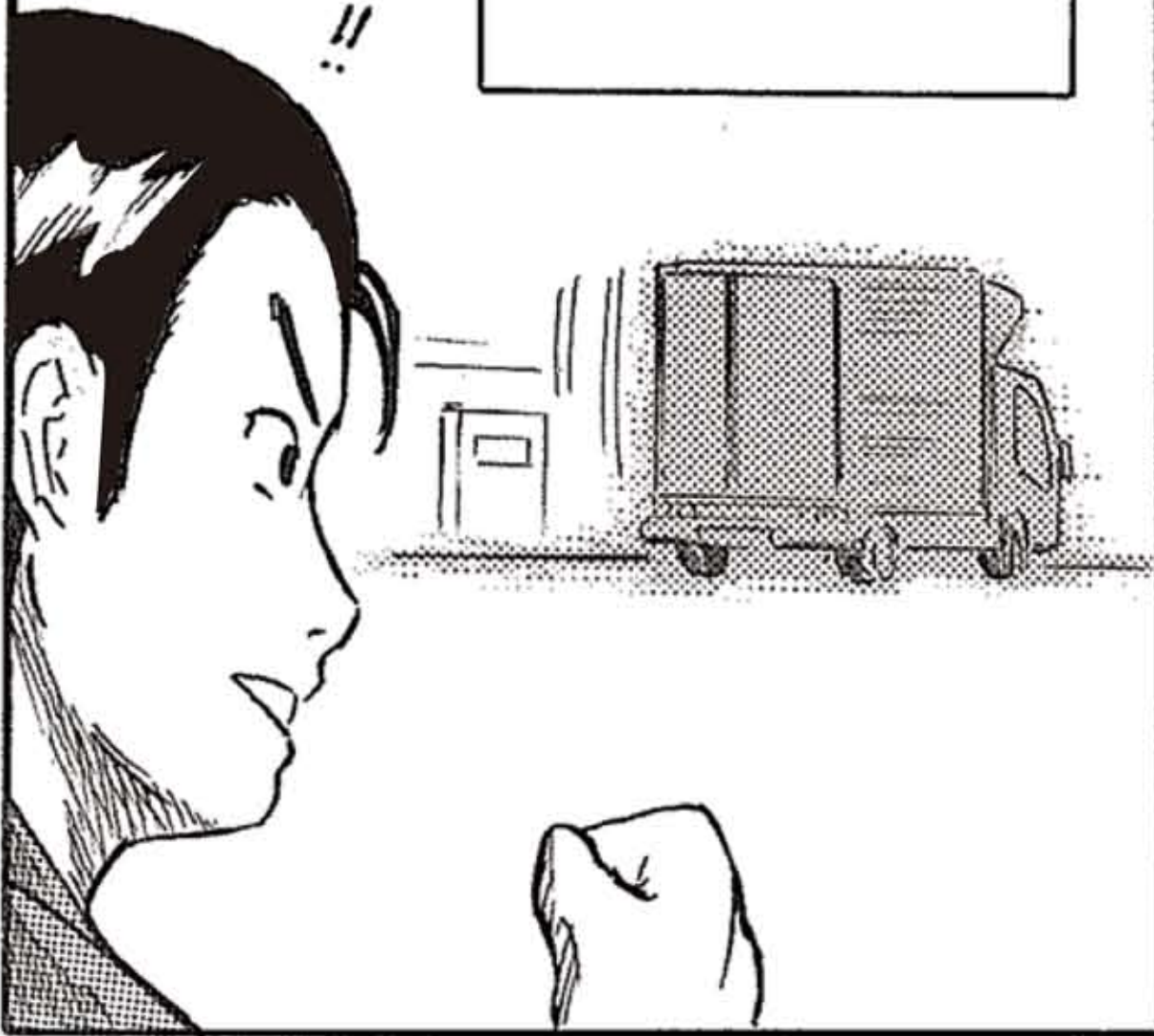


最近の若者には
珍しく
自立心と
気力に溢れた人材



入社後は、
私の期待以上に
目を見張る
活躍をみせて
くれていた。

カンパレ!!



ところが
彼が入社をして
3カ月程が
経った頃……

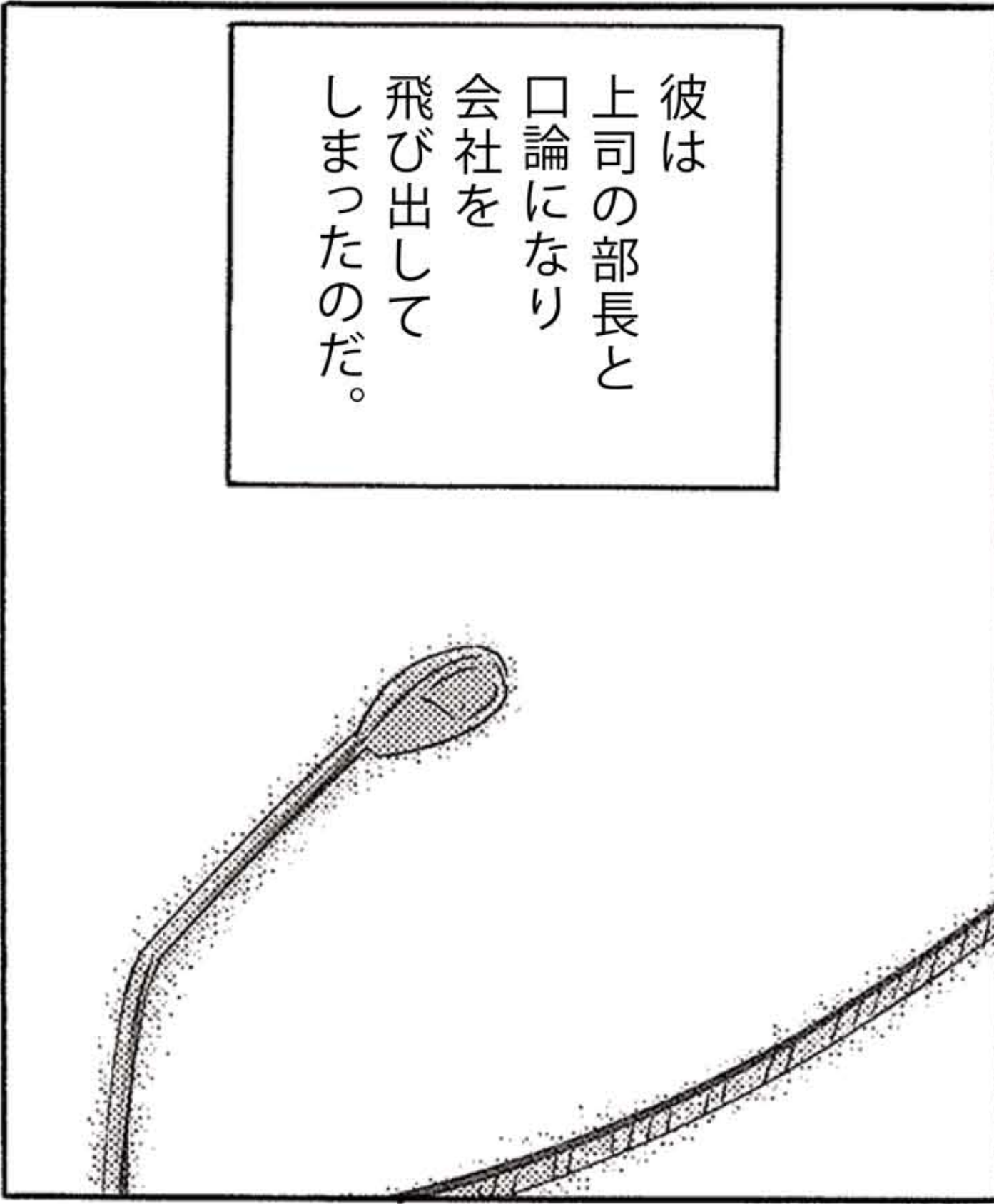


いい加減に
して下さい!
どういふつもり
なんですか
部長!!

やかましいわ!
若いのが
イキがるなッ!
そんなに嫌なら
辞めちまえッ!!



彼は
上司の部長と
口論になり
会社を
飛び出して
しまったのだ。



社長!?



会社を飛び出して
一体何があったんだ……
詳しく聞かせて
くれないか……?





社長……
何であんな奴が
部長なんすか
……………?



えっ?



気に入らない
事があればすぐ
モノや人に
当たる……



あいつが上司で
いるかぎり
若手の社員は
どんどん辞めて
いきますよ!!

それに
あんなヤツを
部長に
しておくなんて
社長……



オレは
あなたの事も
信じられない!

みんな会社の事を
ボロクソに
言ってますよ!!

本当は気づいて
いた。
社員の間で
目に見えない
不和が生じていた事を。

だが、私は信じていた
社員一同、同じ目標に
向かえば、きつと
認め合う事が
できるだろうと……

しかし「信じる」
だけでは何の解決にも
ならなかったのだ。

私は自分の甘さを
痛感し、
彼に返す言葉が
なかった……



本当にすまん……
全てお前の
言う通りだ……

でもな、俺は
こんなダメな
会社を本気で
変えて
いきたいと
思っている…

だからこそお前達若手を
入社させたんだ！
お前たち若手の力が
必要なんだ!!!

私は彼に
胸の内を正直に
打ち明け

夜遅くまで
お互いが納得いく
限り語り合った

次の日
彼は誰よりも早く
出社をし

口論となった
上司と再び
話をしていた！

彼と
その上司の表情は
以前には
見せた事の
ないような

にこやかな顔色だった

私は彼との
この出来事で

『共に育つ』という事が
どういう事なのかを
学び、そして
その大切さを実感した。

